

## VISTA 1 ユーザーレポート

### 株式会社CBCテレビ様

Vista 1-22F

**CBCテレビ**

中継用にVista 1-22Fを導入



株式会社CBCテレビ  
技術局 放送技術部  
名畑 輝彦

#### 導入の経緯

2013年にBサブでVISTA 9、同年ナゴヤドーム放送室にVISTA 1-32Fを導入、MA室のVISTA 7を含めると、VISTAシリーズは4台目の導入になります。今回の導入目的は、中規模～大規模中継のメイン卓を想定しています。弊社は音声の中継車を所有しておらず、今までは規模の大きな中継の場合、アナログ卓を数台並べてシステム構築していました。機材を並べるスペースを確保するのもなかなか難しく、狭い作業スペースの中で複雑なセッティングをするのは毎回大変な作業でした。今回はアナログ20ch音声卓の更新でしたが、単純に音声卓の価格だけでなく、作業や機材の効率化、より安全に中継を行える点などを会社にアピールした結果、VISTA 1を導入する事ができました。

#### 選定のポイント

VISTAの使用感、音質、安定性等については十分に実績がある為、心配していませんでした。VISTAのメリットである、どの卓でも操作性が変わらない点はVISTA 1でも継承されており、操作に困る事やマニュアルで操作方法を調べるといった事も

ほぼありません。VISTA 9と比べ、釦の数が少ないくらいで、外部コントロール以外はやれる事も大きくは変わらないですし、常に操作する部分はちゃんと残されており、過不足無くコンパクトにまとまっている感じです。持出用という事で少しでもコンパクトな22フェーダー仕様を選択しました。操作する画面でフェーダー数が足りなくなる事もありますが、レイヤーも多く、左右別々にレイヤーを切り替えられるので、運用に支障があった事はありません。また、何台もVISTAがある事で、他のVISTAで事前セッティングを作り、USBメモリーで本番卓にデータを移すといった事前作業の効率化も実現しています。

昨今の大型デジタル音声卓と比べて、VISTA 1はI/Oの数では劣ってしまいますが、MADI I/Oが標準装備されているので、今回は予算の問題と他社の卓での汎用性も考えD.O.Tec社のANDIAMOにてSTAGE BOXを構築しました。VISTAのマルチモードのMADI I/OをFiber Plex社TD-6010でシングルモードに変換し、カメラケーブルで伝送しています。弊社の中継機材としては、飛躍的に技術革新し、やれる事も格段に多くなりました。

#### 使用事例

使用する番組としては、ゴルフ中継、鈴鹿8耐、ボクシング、ラグビー、地方球場野球中継と多岐に渡り、どの番組でも機材量やセッティング時間は

大幅に効率化されました。今年6月のビートルズ来日50周年記念番組では、2日間に渡りVISTA 1を使って歌番組の収録を行いました。内蔵のLexiconエフェクターをドラムのリバープに使用したり、VISTA MIXをGate的に使用したりと、標準装備の機能を大いに活用しました。録音はDirect OutをMADIにアサインし、64chマルチトラック録音を行いました。当日2MIXのためのレベルと録音側に送るDirect Outのレベルが変えられる事、Direct Outさせる位置が変えられる事などVISTAだから出来る事も多々あり、我々ユーザーのアイデア次第で様々な活用ができることを実感しました。

#### 最後に

中継ではアナログ主流だった弊社が、VISTA 1を導入して色々な事が出来る用になった事で、制作からの要望を安易に受けてしまったり、VISTA 1の機能に依存しすぎて、EMG卓では制限が多くなる弊害(?)も起こっています。今後も様々な放送現場でVISTAの機能・性能を最大限に発揮できる様に自身の能力アップに努めたいと思います。いつも私の我が儘な要望に付き合い、想像以上の御提案をして頂けるスチューダー・ジャパンブロードキャストの各位に御礼申し上げます。